

2016年度日本語教育学会研究集会 第2回 <中部地区（名古屋）> 【研究発表・実践報告・活動報告・講演】

日時：2016年6月11日（土）10:00～16:40（受付開始 9:30）

会場：愛知県立大学 長久手キャンパス （〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522 番 3）

交通：東部丘陵線（リニモ）「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分

<http://www.aichi-pu.ac.jp/access/> * 受付はB棟1階です。

参加費（予稿集代）：1,000円

問合先（担当地区委員）：鷺見幸美（名古屋大学） E-mail: ysumi@lang.nagoya-u.ac.jp

主催：公益社団法人日本語教育学会

午前部

研究発表・実践報告（口頭発表）10:00～11:40

<第1会場> (B棟) B102 教室

- 10:00～10:30 「決まる」と「決める」の多義構造 —日本語教育の観点から—
李澤熊（名古屋大学）
- 10:35～11:05 起点を表す格助詞「を」と「から」の選択について
—3種類のアンケート調査の比較—
杉村泰（名古屋大学）
- 11:10～11:40 日本語学習者の使う『言いさし文』の傾向
伊藤亜紀（南山大学大学院生）

<第2会場> (B棟) B103 教室

- 10:00～10:30 日本語学習効果の要因 —地域日本語教室における活動を事例として—
米勢治子（愛知県立大学）・古本裕子（名古屋学院大学）
- 10:35～11:05 ビジネス日本語能力テストの分析と台湾人日本語学習者の受け止め方
黄英哲（台湾・台中科技大学）
- 11:10～11:40 日本語を専攻しているインドネシア人日本語学習者における動機付けについて
ニ・ワヤン・プリリヤシタ（南山大学大学院生）

ポスター発表 10:30～12:00 <会場> (B棟) B101 教室

研究発表・実践報告

- ・中級日本語教育におけるモジュール型教材の可能性
高屋敷真人（関西外国語大学）
- ・日本語教師のライフヒストリー研究の試みーライフヒストリーの記述方法と研究課題ー
水野沙江香（愛知工科大学外国語学校）
- ・日本語指導が必要な生徒のための教材開発
ー教科学習につなげるための日本語指導教材の開発と実践ー
有本昌代（大阪府立門真なみはや高等学校）
- ・留学生によるアクティブ・ラーニングの試みートラブル事例を課題としてー
中林律子・久野かおる・三宅祐司（東京福祉大学名古屋キャンパス留学生日本語別科）

活動報告

- ・学んだ文法を使う活動実践ーペアで映画を紹介する活動を通してー
藤田裕一郎・加藤恵梨（朝日大学）

ランチタイム交流会 12:10～13:10

<会場> (B棟) B105 教室, B106 教室

* 中部地区名物企画の昼食交流会は、今年も昼食を各自持参して気軽に情報交換ができる「ランチタイム交流会」として開催いたします。昼食は各自ご用意下さい。大学近隣には昼食を購入できるお店が全くありません。予めご用意頂くことをお勧めいたします。

講演 13:20～14:50 <会場> (S棟) S101 教室

「つながり」を重視した日本語教育をめざす

～「会話」から「対話」へ～

嶋田 和子 氏（アクラス日本語教育研究所）

午後の部

研究発表・実践報告（口頭発表） 15:00～16:40

<第1会場> (B棟) B102 教室

- 15:00～15:30 中国語母語話者による「味を表す表現」－日本語との比較から－
武藤彩加（広島市立大学）
- 15:35～16:05 オノマトペ学習にふさわしい教材の探索的実証研究
－漫画本，アニメ映画，教科書を素材として－
凌巧（広島市立大学大学院生）
- 16:10～16:40 主述句を用いた文の構造の把握 －形容詞述語の文に現れる「が」について－
津坂朋宏（愛知淑徳大学大学院生）

<第2会場> (B棟) B103 教室

- 15:00～15:30 超短期プログラムにおける日本語学習
－名古屋大学短期日本語プログラム 2016 年春季の取り組みから－
松尾憲暁・加藤淳・椿由紀子・徳弘康代・初鹿野阿れ（名古屋大学）
- 15:35～16:05 ピアインターアクションの分析と相互受益の可能性
－協働対(collaborative dialogue)を通して－
下駄真奈美（ユーゼックインターナショナルスクール）
- 16:10～16:40 就学前教育プログラムの重要性について
川崎直子（愛知産業大学短期大学）

以上